

令和3年度 - 関西大学ラグビーリーグ戦戦績 - 今シーズンより勝ち点制導入、Bリーグ12チーム中10位、Bリーグ残留

令和3年度(2021年度)リーグ戦・試合結果

今シーズンより、全リーグにおいて「勝ち点制」が導入されました。

1. 順位の決定は勝ち点制を採用する。
2. 各試合の勝ち点は、勝ち4点・引き分け2点・負け0点とする。
3. 不戦勝の勝ち点は4点とし、不戦敗の勝ち点は0点とする。
4. また、ボーナス点として以下の勝ち点を与える。
 - (1) 負けても7点差以内ならば、勝ち点1を追加。
 - (2) 勝敗に関係なく、4トライ以上のトライを獲得したチームに、勝ち点1を追加。

2021年度のリーグ戦は、まず、1次リーグとして、12チームを6チームずつB1とB2の2グループに分けてリーグ戦を行い、次に、1次リーグの各グループでの上中下同士4チームで行う2次トーナメントが実施されました。神戸大は、1次リーグのB1グループでは0勝4敗1分、勝ち点5の5位となり、2次トーナメントでは下位グループ(9位~12位)に回り、初戦は大阪経済大に勝利、9位・10位決定戦は甲南大に終了間際逆転負けしました。最終的には、Bリーグ12チーム中10位で終え、Cリーグとの入れ替え戦に臨みました。入替戦では、大阪市大に快勝し、Bリーグ残留となりました。今年度もコロナ禍で準備期間が短く、難しいシーズンとなりましたが、尻上がりにチームを整え、一体となって乗り越えてくれました。新チームは、中核となる新3年生と新2年生は合宿、定期戦を経験しておらず、チーム運営に苦勞するかもしれません。OB会の皆様におかれましては、現役へのより一層のご支援をお願いします。

● 関西大学Bリーグ最終順位

- | | | | |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 1位：大阪体育大 | 4位：花園大 | 7位：大阪産業大 | 10位：神戸大 |
| 2位：龍谷大 | 5位：京都大 | 8位：大阪国際大 | 11位：大阪工業大 |
| 3位：追手門学院大 | 6位：大阪教育大 | 9位：甲南大 | 12位：大阪経済大 |

B1リーグ	大体育大	花園大	国際大	大産大	神戸大	甲南大	勝	負	分	得失点	勝点	順位
大阪体育大学	○	○	○	○	○	○	5	0	0	379	25	1
花園大学	●	○	○	○	○	○	4	1	0	-8	20	2
大阪国際大学	●	●	○	○	○	○	3	2	0	-49	12	3
大阪産業大学	●	●	●	○	○	○	2	3	0	-70	9	4
神戸大学	●	●	●	●	△	△	0	4	1	-157	5	5
甲南大学	●	●	●	●	△	△	0	4	1	-95	4	6

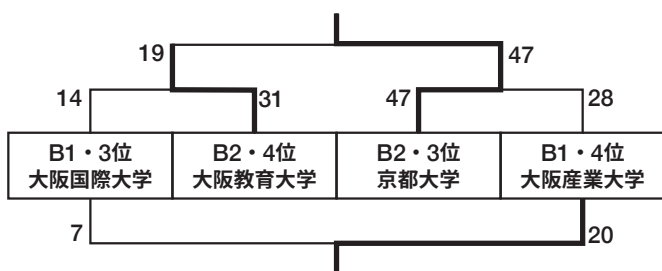
B2リーグ	龍谷大	追手門大	京都大	大教大	大工大	大経大	勝	負	分	得失点	勝点	順位
龍谷大学	○	○	○	○	○	○	5	0	0	271	25	1
追手門学院大学	●	○	○	○	○	○	4	1	0	142	20	2
京都大学	●	●	○	○	○	○	3	2	0	-71	14	3
大阪教育大学	●	●	●	○	○	○	2	3	0	-62	9	4
大阪工業大学	●	●	●	●	○	○	1	4	0	-81	6	5
大阪経済大学	●	●	●	●	●	●	0	5	0	-199	0	6

●2次トーナメント

上位トーナメント



中位トーナメント



下位トーナメント



●入替戦

AB入替戦

12月11日(土) 11:45	関西学院大 A8位	48-17 (19-5)	大阪体育大 B1位	宝が池
12月11日(土) 14:00	摂南大 A7位	69-29 (31-12)	龍谷大 B2位	

BC入替戦

12月12日(日) 11:00	大阪工業大 B11位	56-14 (28-0)	帝塚山大 C2位	大阪大G
12月12日(日) 13:30	大阪経済大 B12位	15-15 (5-8)	大阪大 C1位	大阪市立大G
12月12日(日) 11:00	甲南大 B9位	23-15 (3-7)	大阪学院大 C4位	
12月12日(日) 13:30	神戸大 B10位	46-5 (27-0)	大阪市立大 C3位	

9/26(日) 大阪産業大戦 13:00 KO

@天理親里グラウンド

前半 10-15 後半 10-42 合計 20-57

【戦評】

全体を通して、敵陣に入り込むことができず、自陣でプレーすることが多かった。それでも、前半は、相手陣地に侵入できた少ないチャンスの中でしっかり得点できていた。後半は完全に相手ペースの試合運びとなり、後半のほぼ3分の1は自陣ゴール前でプレーすることになってしまった。相手チームはキックの飛距離が長く、相手からの蹴り返しで一気に陣地を回復される場面が目立った。また、タックルの成功率が試合を通して低くDFに大きな課題が残る試合だった。

10/3(日) 大阪体育大戦 14:00 KO

@大阪体育大学グラウンド

前半 7-54 後半 12-50 合計 19-104

【戦評】

試合開始からフィジカルで相手に圧倒され大量失点を許すという昨年と同じ展開になった。DFは前試合の大阪産業大戦に比べて、前に出ることができており、また、ダブルタックルができるようになっていたが、力強いタックルができていなかった。前半と後半を合わせて3本のトライを取ることができ強豪校相手に一矢報いることができた試合だったが、トライ数が1本足らず勝ち点を取ることができず後悔が残る試合だった。

10/10(日) 甲南大 10:30 KO

@甲南大学グラウンド

前半 26-7 後半 0-19 合計 26-26

【戦評】

前半は敵陣に入り込み、トライを重ねることができた。しかし、前半の終了直前に相手にトライを奪われ相手が勢いづくきっかけを作ってしまった。今シーズン初めて前半をリードして折り返したものの、後半に入ってから、反則が多くなり、立て続けに3本のトライを許し、引き分けという結果になってしまった。自分たちが優位な状況から相手の流れに変わったときの試合運びに課題が残る形となった。

10/17(日) 花園大戦 13:00 KO

@京都宝ヶ池グラウンド

前半 14-28 後半 19-26 合計 33-54

【戦評】

全体的に見ると敵陣でプレーすることが多い試合だったが、後半の立ち上がりは相手留学生選手にビックゲインされてトライを取られる場面があったため、点差が開いてしまった。後半の終盤は、神戸大がテンポのあるプレーで攻め込むことができ得点を重ねることができたものの、前半は耐え忍ぶことができていたラックを相手に越えられてしまうなどのミスが多かった。強い相手選手に対してのDFやキックチェイスに課題が残る試合だった。

10/31(日) 大阪国際大戦 15:00 KO
 @四条畷市グラウンド
 前半 17-28 後半 14-17 合計 31-45

【戦評】

試合を通して、神戸大側のサポートが多く、相手のテンポについていくことができない場面が多く見受けられた。DFでは、2人目のタックラーがリロード・リポジショニングに遅れており、失点が多くなってしまった。また、ATでは、キャリアのラックでの体勢が悪く、サポートの寄りが遅かったため、テンポのある攻撃ができないという課題が残った。また、ゴール前のATでは、点を取り切ることができないまま相手ボールになり、決定力でも課題を感じる試合だった。

11/21(日) 大阪経済大戦 12:00 KO
 @大阪経済大学グラウンド
 前半 20-0 後半 36-19 合計 56-19

【戦評】

今年初めて、勝利をすることができた試合で、AT、DF、エリアマネジメントの全てにおいて今シーズン取り組んできた成果が発揮できた。特に、エリアマネジメントにおいては、試合中に修正を行うことができ成長を感じた。DFについては、ジャッカルやカウンターラックによるターンオーバーができていたのが良かったが、組織的なDFにはまだ課題が残る出来だった。

11/28(日) 甲南大戦 11:00 KO
 @神戸製鋼灘浜グラウンド
 前半 0-19 後半 21-7 合計 21-26

【戦評】

前半は、タックルの精度が悪く、40分のほとんどを自陣でのDFに費やす流れになってしまった。これまでの試合とは異なり、後半では、勢いが逆転し神戸大側が優勢な試合運びをすることができた。しかし、相手陣地ゴール前まで攻め込んだものの、後半21-19から点を重ねることができずにラスト約40秒で逆転され敗退する結果になってしまった。前半の集中力と、試合終盤のチームコントロールに課題が残る試合だった。

12/12(日) 大阪市立大戦 13:30 KO
 @大阪市立大学グラウンド
 前半 27-0 後半 19-5 合計 46-5

【戦評】

試合を通して、相手チームを圧倒し、試合のペースを握ることができた試合だった。前半開始からトライを重ねることができ、相手にトライをさせないDFができていた。後半には、相手のペースになり1トライを奪われる場面があったものの、リーグ戦を通してでた課題が改善できており集大成と言える試合であった。



大阪市立大学グラウンド

三商戦・定期戦

2021年度は、三商戦をはじめとする定期戦は全て中止となりました。

(参考)大阪市立大：関西大学Cリーグ 3位(12チーム中)
 一橋大：関東大学対抗戦Bリーグ 4位(8チーム中)

今シーズンを振り返って

共同主将：山内智大／川中一慧

(1) 御礼

はじめに、今シーズンを通してご支援・ご声援をくださいましたOB・OGの皆様およびサポートしてくださいました部員の保護者の方々にお礼を申し上げます。チームを支えて頂きありがとうございました。皆様のサポートがあり、部員のコロナウイルス感染による部活動の自粛という苦難を乗り越え、シーズンを無事に終えることができました。

(2) 今シーズンの戦績について

昨年とは違い、大学の部活動が再開していたことから、今年のリーグ戦は入れ替え戦を含めて、試合数8試合での開催でした。戦績としましては、【第1戦】vs大阪産業大、20-57で敗戦【第2戦】vs大阪体育大、19-104で敗戦【第3戦】vs甲南大、26-26で引き分け【第4戦】vs花園大、33-54で敗戦、【第5戦】vs大阪国際大、31-45で敗戦【第6戦】vs大阪経済大、56-19で勝利【第7戦】vs甲南大、21-26で敗戦【第8戦】vs大阪市立大、46-5で勝利でした。シーズンを通して、8戦2勝1分5敗と終わってみると、敗戦が多くCリーグとの入れ替え戦に挑まなければいけない苦しいシーズンでしたが、リーグの第5戦以降は、チームとしてのまとまりが高まり勝利に貪欲な良いチームになっていたと思います。

(3) 今シーズンの総括

2021年の年最初に、「今年のチーム目標はBリーグ3位です」と抱負を申し上げましたが、実際は敗戦が多くBリーグ10位という結果でした。今年も春季の活動自粛、夏の菅平合宿の中止、リーグ戦開催前の部員の感染発覚による活動自粛と、満足に練習ができない環境でした。しかし、部員一同が抱いていた危機感や勝利への渴望により、リーグ戦を通して例年にはない成長ができていたと思います。OB・OGの皆様の激励や、練習環境へのご支援は、モチベーションの維持とチームの継続的な成長の支えになっていました。春季に活動ができなかったものの、6月ごろから活動を再開し、7月に行った4試合では、今年のチームは強くなるという確信を持ってました。しかし、コロナ陽性者の発覚による活動自粛期間があり、予定していた戦術の落とし込みが間に合いませんでした。9月26日の開幕には、戦術の落とし込みを練習では行っていたものの、練度が足りていませんでした。前述したように、リーグ戦では試合を重ねながら、チームを成長させることができたものの、春夏で戦術を落とし込めていれば、もっと勝利数を増やすことができたと思います。後輩にはこの経験から、上位リーグ進出に向けて、春からの活動について見直し、リーグ戦初戦から白星を積み上げるチームになってもらいたいと思います。

(4) 後輩へ

今年のチームは例年よりまとまりが強く、リーグ戦最終節では、

チーム一丸となって勝つ喜びや楽しさを感じることができたと思います。また、自粛期間中でも、自分を、チームを、分析することでラグビーに対する理解を深めることができると感じたはず。やれるだけのことを全力でしていれば、結果は自ずとついてくるので、どんな状況でも最善を考えて行動し、来年も「勝利」の喜びを分かち合えるチームを作り上げてください。

また、この2年はコロナウイルスの影響から、合宿や定期戦が行えておらず、未経験の行事を指揮しなければいけないため、来年度のチーム運営は苦勞することが多いと思います。悩んだときは遠慮することなく私たちを含め、OB・OGを頼ってください。必ず手助けします。

最後に、神戸大学ラグビー部に関わってくださっている全ての皆様、本当にありがとうございました。

退任のご挨拶

共同主将：山内智大

OB・OGの皆様、選手の保護者の皆様、部活の運営に携わる関係者の皆様、1年間の手厚いご支援を有難うございました。おかげさまで、コロナウイルスによる活動制限があった中で、2021年度も無事にリーグ戦を終えることができました。

思い返してみると、春夏シーズンは、コロナウイルスによる部活動の自粛や夏合宿の中止などによってチーム作りに悩まされました。リーグ戦の最終結果は2勝5敗1分と、2021年の年初めに抱負として申し上げたBリーグ3位には程遠い10位という結果でした。しかし、リーグ戦の中で感じた部員の成長や勝利への渴望は例年見なかったものであると思っています。OBの皆様や関係者の皆様の激励や練習環境へのご支援は、チームの継続的な成長の支えでした。重ねてお礼申し上げます。

今年のチームはCリーグとの入れ替え戦に進んだものの、チーム一丸となって勝つ喜びや楽しさを感じることができました。後輩諸君には春から真摯にラグビーに向き合い、来年も「勝利」の喜びを分かち合えるチームを作り上げて欲しいと思います。また、次チームは、合宿や定期戦が行えておらず、未経験の行事を指揮しなければいけないため、OB・OGの皆様には引き続きご支援をよろしくお願い致します。

最後に、神戸大ラグビー部に関わってくださっている全ての皆様、本当にありがとうございました。

共同主将：川中一慧

昨シーズン、多大なるご支援ご声援賜りましたOBの皆様並びにサポートして頂いた方々に感謝申し上げます。依然として新型コロナウイルスが猛威を振るう中、皆様のご支援のおかげで無事にシーズンを終えることができました。試合、練習に御足労頂いたことや応援メッセージ等、コロナ禍にも関わらず、多くの方々からご声援頂き、非常に心強かったです。

新チーム発足時、OB会の支援で筋トレ器具の購入、米の定期購入を致しました。それに伴い、春から夏にかけて週5日の練習のうち1日を筋トレとフィットネスに特化した練習に変更し、2週間おきの体重管理によるフィジカル強化のシーズンとしておりました。その結果、春シーズンの交流戦では下級生中心のチームでも善戦することができ、フィジカル強化をできたのではないかと考えております。

一方でリーグ戦開幕1ヶ月前に部員から新型コロナウイルス

陽性者が発生し、2週間の練習禁止となりました。その期間中に十分なチームの強化をできたとは言えず、リーグ戦前半はチームのパフォーマンスを上げることができなかつたことを反省しております。

来季のチームを率いる現3回生は優秀な選手が多く在籍しており、チームの更なる成長を実現できると確信しております。引き続き、神戸大ラグビー部へのご支援ご声援を宜しくお願い致します。

令和4年度(2022年度) 新チーム首脳陣紹介

主 将	南 竜太郎 (経営・新4)
副 将	辻 佑記 (国際人間科学・新4)
FWリーダー	大原 悠利 (農・新4)
BKリーダー	田中 現 (国際人間科学・新4)
主 務	岡田 昂大 (国際人間科学・新3)
副 務	池田 魁哉 (農・新3)

OB会全般の活動と現役への支援

OB会長：田中計久(S53卒)

コロナの状況もオミクロン株出現でなかなか視界がひらけませんが、OB会員の皆様におかれてはご健勝でお過ごしのことと思います。

さて、昨年の神戸大ラグビー部は、コロナで制約が多い中にも関わらず良くチームが結束し健闘致しました。特に、リーグ戦最終戦且つ入れ替え戦となった大阪市大戦では、たくさんのOBや選手のご家族が応援に駆け付ける中、選手全員が気持ちの入ったプレーを継続し圧倒的勝利を収めました。山内、川中共同キャプテンと4回生の皆さんのリーダーシップに敬意を表したいと思います。

OB会の活動も活発化しています。現役チーム強化支援では磯江GM(S53卒)、小松さん(S54卒)、中本さん(S57卒)森岡監督(H1卒)の皆さんが週末毎に練習や試合にてアドバイスを送って現役の士気を高めてくれました。大石コーチ(神戸製鋼OB)による実戦を想定した効果的な練習メニューによるところも大でありました。また現役支援の一環としてOB会でベンチプレス等の器具を購入しています。事務局業務では板垣さん(S55卒)が、また会計では山形さん(S52卒)、本ラガー通信編集では遠藤さん(S60卒)がしっかりとOB会の新体制を支えてくれました。山入端さん(S53卒)が中心のホームページ作成も進んでおります。合わせてOB会員名簿整備作業も藤田さん(旧姓北島さん、S55卒)が進めてくれています。創部100周年記念事業の準備は坂下副会長(S57卒)が中心となって推進中です。芝生維持管理では、引き続き明慶さん(S53卒)、板垣さん、福本さん(S63卒)に加え、三戸森さん(S54卒)も作業に参画してくれました。東京支部では池内副会長(S55卒)、辻野さん(S56卒)、鬼丸さん(S62卒)が中心となって支部の活性化を推進中です。詳細は、それぞれの報告をごらん頂ければと思います。

本年も、現役チームは新4回生を中心にすでに筋トレやフットネスを主に練習を開始しています。引き続き現役チームへご

声援と、OB会活動へのご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

神戸大学ラグビー部2021シーズンを振り返って

GM：磯江憲夫(S53卒)

各位ご存知の通り2021年シーズンも100年に一度の厄災、2年連続コロナ禍の最中に始まりましたが、現役の弛まぬ努力の結果が実を結び、終わりに良ければ全て良し、シーズン最終戦の対大阪市大(BC入替戦)を46-5の大勝で終えられたのは、一重に支え続けて頂いたOBの方々のご高配の賜物と感謝致します。

先ず、現役については、昨シーズンの新チームが活動を開始した時、FWはスクラムも満足に組めず、前シーズンからの弱いスクラムをどう強化すれば?と途方に暮れましたが、ロックの藤田君が1番にコンバートされ、幸い新入生に茨木高、北野高からスクラムを組める経験者が入部、何とか3 vs 3, 5 vs 5の対人スクラム練習が出来る様になり、トンネルの先にかすかに明かりが…?

その矢先、コロナ感染対応で大学側からは部活動の禁止と構内入構禁止を言い渡され、チームプレーが命のラグビーで集合練習は出来ず、多人数で会う事も禁止、機器を使った自主トレも不可。八方ふさがりの中、現役首脳陣はオンライン会議でスマートに、でも懸命に部員を一つにまとめてくれ、夏シーズン、秋のリーグ戦へと繋いでくれました。

練習試合も定期戦も悉く中止されましたが、関西大学学生ラグビー協会から、コロナ規制の間隙をつき、BCリーグ加盟チームが“公式戦”として試合を行える“交流戦”を編み出してくれ、夏合宿も出来ぬ中、幸いにも追手門学院大、大阪教育大、大阪大、大阪国際大、と“公式戦”実戦を経験出来たのは何よりでした。

練習不足、試合経験不足でフタを開けたリーグ戦は、序盤戦はBKの攻撃力は光るものの、背中丸く姿勢も出来ない弱いスクラムのFWの劣勢は否めず初戦大産大戦に敗戦。次戦大体大戦には大敗(しかしB1リーグの中で、神戸大は大体大から3トライを唯一奪ったチーム)。中盤戦の甲南大戦は主審ミスジャッジによる引き分け(無念)。花園大戦はトンガ留学生にかき回されたがやりようによっては勝てたかも(負け惜しみ)。後半戦は、大阪国際大戦は対抗出来るスクラムが組める様に。大経大戦は56-19と完勝でリーグ戦初勝利を収め、順位決定戦の甲南大戦は、終盤間際までリードしノーサイド直前の逆転トライを喫した惜しい敗戦。現役は、大石コーチと作成したメニューを消化してエッセンスを身に付け、負け戦から弱点を研究し、改善を重ね、今季最終戦大阪市大戦ではあの弱かったスクラムで何とスクラムトライまで取って勝利してくれました(スクラムを化けさせたFW部員たちのハードワークは称賛に値します)。

昨季最初に掲げた「リーグ戦3位」の目標からは遥かに遠い結果でしたが、大学側からコロナ規制でがんじがらめにしばられ、私学とは大幅に劣る練習環境であったにも関わらずBリーグに残留してくれたチームを褒めてやりたいと思います。

2022年度は、神戸大学GMとして、「神戸大学ラグビー部のブランディング強化」(あの神戸大学ラグビー部でラグビーをやりたい!と思える高校生をリクルート出来るラグビー部を目指す。)を掲げ、神戸大学ラグビー部のブランドバリューを更に向上させる為、今季リーグ戦では上位に迫れるチーム作りに励んで行き度いと思っておりますので、引き続きOBの方々のご支援ご鞭撻を賜り度く、何卒宜しくお願い申し上げます。

深江グランド芝生維持管理の現況

明慶 剛(S53卒)

芝はフィフトンという夏芝の一種なので、冬の間は“冬眠中”のため枯れたように見えますが、ところがどっこい根の部分は地中でしっかり生きています。3月になれば新芽が出てきます。緑の芝生で新入部員をお迎えできるように、作業の準備もしていきたいと思います。2021年度シーズンも新型コロナでラグビー部の活動も思うようにいきませんでした。芝生にコロナはありません。作業の甲斐あって年々芝の密度も厚くなり、夏にはゴロゴロしたくなるようなふかふかのグラウンドになっています。コロナが落ち着いたら見に行ってください。【BBQはできません!】私明慶(S53卒)から、お力添えいただいたメンバーをご紹介します。田中会長、板垣事務局長、福本さん(S63卒)それに三戸森さん(S54卒)が新たに仲間に加わっていただきました。もちろん、阪神園芸様に芝生管理の後押しを仰ぎ、芝刈り機の点検調整にはクボタ様のご協力あってのことですので、紙面をお借りして御礼申し上げます。最後に現役諸君も芝生の管理に関心を持ってお手伝いして下さった事、大学関係者の厚いご協力があったことも申し添えておきます。[独り言:芝生にキャラクターがあったらイイな。芝犬とか芝太郎、芝子、芝爺、、、]



創部100周年事業

副会長：坂下清信(S57卒)

既にご案内の通り、2023年に創部1923年(大正12年)から数えて100周年を迎えます。これは1899年の慶應、1911年の同志社、1918年の早稲田、1920年の大阪市大、1921年の東大、1922年の京大・一橋に続く国内8番目の歴史を誇るものです。この記念すべき年に以下のような周年事業を計画しています。

①記念式典の開催

90周年の時のような式典を考えています。簡単な冊子を配布予定です。場所は未定ですが、できれば東京にもサテライト会場を設け、ネットで繋げればと考えています。また開催日時も未定ですが、現役の公式戦の妨げにならない時期とします。

②記念品の製作と販売

記念のエンブレムまたはピンバッジ、周年事業の広報用タオルなどの製作と販売を考えています。また、現役応援用の横断幕を製作したいと考えています。

③ロッカールームの設置(深江グラウンド)

吉川前会長のもとOB各位の多大なご協力により深江グラウンドは立派な天然芝のグラウンドとなりましたが、実は現役が

使えるロッカールームがありません。当然、対外試合のチームが更衣する場所也没有。このような状況に対して大学側へ施設の建設を再三要望していますが、財政難を理由にゼロ回答です。そこで周年事業の目玉として、ロッカールームの設置を考えています。設置について大学と協議を始めていますが、クリアするにはまだ課題が残っています。それらを解決し、2023年の着工に漕ぎつけることばできればと考えています。

④ホームページの充実と100周年特別ページの作成

OB相互の情報共有のためにホームページを充実させるとともに、過去データを掲載する100周年特別ページを作成することを考えています。

これらの事業を遂行するためにはOB各位のご寄付をお願いしなければなりません。芝生化事業に対してご寄付を頂いたばかりで誠に恐縮ですが、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

OB会名簿更新についてお願い

大阪事務局長：板垣 毅(S55卒)

当ラグビー部は来年創部100周年を迎え、出来るだけ多くのOBの方々に対して記念行事などへの参加を呼び掛けたいと考えています。皆さんへの連絡に際し、現名簿は作成からすでに7年が経過しており、現在、更新作業を進めています。

昨年10月、各学年幹事の方に当該学年同期メンバーの情報更新をお願いしました。すでに回答を頂いた学年もありますが回答率は5割弱に留まっています。

未回答の学年幹事の方には改めてご協力をお願いします。何らかの事情で対応できない方、連絡が届いていない方がおられましたら当事務局までご連絡願います。本件を放置されると同期全員の情報が更新されないままになりますのでご注意ください。

なお、個人情報保護の観点から今回以降は冊子による名簿発行は行いません。現在更新中のOB会ホームページの中でアクセス権を持った方のみが閲覧できる方法を検討していますので、詳細が決まりましたらご連絡致します。

【本件に関する問い合わせ先】

大阪事務局 板垣

TEL：080-9543-0441

メールアドレス：kobe.u.rfc.ob@gmail.com

または itagaki@mikunikinzoku.jp

令和4年度(2022年度)OB総会と春季試合等の予定

1月31日時点の情報です。

最新情報はホームページでご確認ください。

- ・理事会及び現役4年生慰労会：3月5日(土) 梅田
- ・OB戦、OB総会及び現役交歓会：4月29日または5月1日
- ・東京支部総会：未定
- ・定期戦(三商戦、東京海洋大、甲南大、関西学院大)：未定
- ・近国体 5月頃

ホームページのご案内

試合予定や結果など、随時最新情報を掲載しています。

【現役】<https://www.koberfc-official.com/>

【OB会】準備中

訃報ご通知

謹んでご通知申し上げますと共に心からご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

柴田 昭 様(S26卒)

岡田 輝久 様(S41卒)

千歳 和秀 様(S37卒) 令和3年9月5日ご逝去

OB会費納入のお願い

口座振替の時期は、基本的には毎年6月28日となっております。振込で年会費を払っておられるOBの方々には、できるだけ口座振替にして頂けることをお願いします。口座振替での納入方法を用意していますので、ご希望の方は事務局までご連絡をお願い致します。口座振替用紙を送付させていただきます。今後ともOB会の財務基盤強化に向けて何卒ご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【年会費】

卒業後10年未満 6,000円(マネージャーは3,000円)、卒業後10年以上 12,000円(マネージャーは6,000円)、賛助会員 5,000円。70才以上の卒業年度の方で特段の申し出のなかった皆様からは、ご寄付いただいたものとして引落しさせていただいておりますのでご了承ください。

【振込先】

凌霜ラグークラブ

三井住友銀行 天満橋支店 普通口座：0957978

三菱UFJ銀行 大阪駅前支店 普通口座：0027557

ゆうちょ銀行 口座：00960-4-302152

神戸大ラグビー部OB会事務局

昨年4月から大阪凌霜クラブに設置していましたが、今般、以下の通り移転します。

- ①メール：kobe.u.rfc.ob@gmail.com
または itagaki@mikunikinzoku.jp
- ②電話：080-9543-0441(板垣OB会事務局長の携帯電話)
- ③郵便：〒662-0051 西宮市羽衣町7-32-509
- ④FAXはありません。